

『彼女より好きって言って。』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『彼女より好きって言って。』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『彼女より好きって言って。』を読んだことのある10代～50代の男女14名
調査期間	2025年8月28日～2025年8月29日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kanozyoyorisukitoitte/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『彼女より好きって言って。』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	1人
40代男性	4人
40代女性	8人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2:『彼女より好きって言って。』の感想を教えてください。

『彼女より好きって言って。』1話	運命の再会と言いたいところですが、琴音さんの別れ際が微妙だったように思います。ちゃんと事情を話してから別れていれば、将暉くんの方もここまで日本津らなかったように思うので。結果その思いがある故に七海さんに対して本気になれていないように感じましたし。ただ再会したからといって、現在の彼女である七海さんをないがしろにするようなことのないようにして欲しいですね。
『彼女より好きって言って。』1話	入学式で一目惚れした琴音と付き合えることになり充実した日々を送っていたのに、彼女に誘われてお泊りに行ったことがきっかけで微妙な雰囲気になり、その後ご両親の都合で急遽転校してしまった彼女と音信不通のまま別れたのがきっかけで、それなりにリア充な生活を送っているにも関わらず、なぜか今カノには本気になれない状態で、こんなものだと割り切っているところに現れた琴音との再会によって、日常が色づき始めるところが良かったです。
『彼女より好きって言って。』2話	琴音の言動がなんとなくあざとく見えて、泣いた理由も本当なのかイマイチ信用できないと感じたため、あっさりと琴音の誘いに乗ってしまった将暉にちょっとガッカリしてしまいました。一度だけの浮気で終わらせるのか、それともキツパリと七海と別れて琴音とヨリを戻すのか、2話の時点ではまだ予想がつきませんが、七海が可哀想すぎるので、琴音とも七海ともずるずる関係を続けることだけはして欲しくないなと思いました。
『彼女より好きって言って。』2話	将暉が現在七海と付き合っていると知った時に一瞬垣間見せた不穏な表情や、未だに将暉が映っている写真を持ち続けていたことから、この再会は偶然ではなく、琴音が計画的に将暉に近付いてきたのではないかと感じました。だとしたら琴音はかなり計算高い女性だと思うので、高校時代の唐突すぎる別れにもなんらかの意図があったのではないかと勘繰ってしまいました。
『彼女より好きって言って。』3話	初恋の相手と久しぶりに会ってしまったことで将暉のボルテージが高まりを見せてしまう流れがとても興味深いですね。こうなったら理性など全く働かない感じで二人でカラオケBOXの一室で絡み合ってしまうので本当にすごいですね。でも将暉の気持ちもわかります。いきなり目の前からいなくなってしまったわけで、その積年の思いがこの瞬間に爆発してしまったのでしょうか。
『彼女より好きって言って。』3話	先に琴音と再会していれば、嫌いになってもないのに離れ離れになることとなった相手。未練が残ったままに他の人と付き合うのはやめておいた方がよかったのでは。早く琴音と再会してればまた元の鞘に収まるで終わったのに。とにかく七海がかわいそうですね。そんな3人で集まっただのタコパって恐ろしすぎる。女って怖いんですよね。
『彼女より好きって言って。』4話	この話では琴音の過去にかなりフォーカスした内容になっていたのですが、そこがまたすごく興味をそそる内容になっていて面白かったですね。結構辛い境遇に身を置いていたということがわかりすごく琴音に感情移入してしまいましたね。なんとなく将暉にちょっと依存していたのかという節も垣間見える場面もあって色々と考えさせられました。
『彼女より好きって言って。』4話	つらい過去を持つヒロイン。それゆえに彼を避け、離れざるを得なかった。わかります。わかりますが、でもそれならそのまま離れたままでよかったのでは。再婚したことでつらい思いをした彼女が、すでに恋人がいるのに元恋人のもとに現れるって、そうなるのも当然でしょう。更には奪おうとしてるって、それは最悪すぎるでしょう。
『彼女より好きって言って。』5話	七海のことを愛しまくる将暉の激しい姿にとってもドキドキしましたね。舐め合いっこしてお互いの愛を確かめ合っている感じもこちらにかなり伝わってきましたね。七海がちょっと顔を赤らめながら恥ずかしそうにしているのもいい演出ですね。「今、私は将暉に愛されているんだ」という感情を昂らせていることが七海の表情から窺い知れました。
『彼女より好きって言って。』5話	過去があるから今の自分がある。わかるのですが、それに振り回されすぎるのもどうなのかと思います。そんなの説明もせずに、ただ相手から逃げて。そんな風にすれば、彼にもトラウマを残すことになっちゃいますよね。更には七海もまたトラウマに振り回されている。もうちょっと自信を持とうよ。3人の関係にやきもきさせられます。
『彼女より好きって言って。』6話	横で眠っている彼氏。自分にだけ見せてくれる無防備な姿。と思ったら彼の口から寝言で違う女性の名前が出てくる。最悪すぎる状況ですね。更に一緒にの学校に行っている以上は、講義を受ける際にその名前の相手もやってくる。勉強に集中できるはずもない。もとはと言えば2人がしっ

	かりしていないから。振り回される七海がかわいそうすぎる。
『彼女より好きって言って。』6話	きちんと自身の状況を説明してぶつかっていかなかった琴音と、いつまでもうじうじと過去の女性を追いかけていて、ちゃんと彼女がいるにもかかわらず現れた途端にふらふらと琴音へと舞い戻ってくる主人公。この二人が悪い。七海は悪くない。なのに何度も絶望を味あわされて。彼女こそ、トラウマを抱えることになっちゃいそう。
『彼女より好きって言って。』7話	将暉が冒頭から人生のことについて語っているところが面白かったですね。人生が楽勝だなんて正直思ったことは一度もありませんが将暉は七海と琴音を天秤にかけながらなんだか楽しそうなので、その部分は本当に彼のいう通り楽勝なのでしょうね。七海と琴音が、少し不穏な感じになっているのもちょっと面白いです。三角関係が形成されつつあるようで見ていてドキドキ感が募ります。
『彼女より好きって言って。』7話	これまでの琴音の言動から考えて、琴音は将暉と七海の間に波風を立てることや、七海に対する優越感をこっそり味わうことを楽しんでいるのかなと思っていたのですが、7話での『対処』発言から察するにもっと別の思惑がありそうで、その時の琴音の冷たい眼差しもあいまってゾクッとしました。その一方で、これからも二股を続ける気満々な将暉の能天気さにはちょっと呆れてしまいました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス